

青木マキの市議会レポート

ここに

注目

よこはま地域 包括ケア計画

2018年度予算

「第7期介護保険事業計画」と「高齢者福祉保険計画」を一体的に整備した「よこはま地域包括ケア計画」が策定されました。元は別々の計画であったものを高齢者施策として一括りに計画することについては、高齢者施策の一体的運用といった表面的な利点に対し、制度をさらに複雑化し、対象者を曖昧にするといった課題を提起しました。本来、自ら納めた保険料を活用して必要なサービスを選択し、自立を助け生活を支えてゆく介護保険と、福祉の措置を同様に扱うことは、保険のあり方を変容させ、高齢者福祉のサービス全体を縮小させることに繋がると危惧しています。

また、今計画の大きなトピックとして掲げられているのが、特別養護老人ホームの年間整備数を倍増（600床）する計画です。横浜市は、特別養護老人ホーム整備に際して「横浜市特別養護老人ホームの設備及び運営の基準に関する条例」にもつきユニット型（個室）に限定して行っています。しかし、利用する側のニーズはユニット型に限定されているものではありません。従来型多床室は、ユニット型よりも入所者が他者と関わる機会が得られることや、ケアする側の負担の軽減などのメリットがあり、何よりユニット型に比べ整備費用を抑えることができます。利用者のニーズに合わせる整備が進められる体制へ、条例改正も視野に入れ、見直していくことを提案しました。

横浜市のエネルギー政策

温暖化対策においては、徹底した省エネルギーを前提に再生可能エネルギーの導入を大幅に増やしてゆく脱炭素化に向

けた取り組みが必要です。新たな発電施設等の大量整備が難しい都市部では、市民・事業者・役所が自然エネルギーを選択する「パワーシフト」が有効だと神奈川県ネットのアンケート結果も示し、提案をしました。予算審議の中では横浜市がグリーンな電気の選択に向かう前向きな姿勢が示されました。

また、現在は電力会社へ売電されている市内で作られた再生可能エネルギーの活用について、地域で生まれた電気を地域で使う、電力の地産地消の観点を取り入れて検討することを提案しました。

横浜市の子育て支援と 幼児教育・保育無償化

昨年、国の幼児教育保育無償化の方向性が打ち出されました。横浜市ではこれに対し、いち早く、財源の確保による自治体負担の軽減、幼稚園預かり保育や一時保育などの一体的な無償化の実施といった緊急要望を国に対して行っています。

独自の施策を駆使して、幅広く子育て支援を行う自治体の取り組みが、無償化の議論の中で置き去りに進められることがあってはなりません。

横浜市においては、待機児童対策も保育所の整備にとどまらず、乳幼児一時預かり事業のような様々な事業がこれを支えています。多様な受け皿であらゆる子育て世帯を対象として行ってきたことが、待機児童対策においても効果を上げてきたものです。

女性の活躍という大義の陰で、様々な社会課題が顕在化し、多様な働き方、生き方が模索され、それに応じた多様な子育て支援が求められています。制度に働き方や生き方を合わせるのではなく、望む生き方を、制度を活用しながら選べる。そうした市の取り組みが、今後も発展してゆくべきと考えます。

国への働きかけと同時に、幼児教育保育無償化の議論に左右されることなく、横浜独自の取り組みを進めていくよう求めました。

出会い、集う場に 「くらしてらす」から始まる まちづくり

霜山恵子



3月25日、ネット・青葉第33回定期総会開催後、4月にオープンする生活クラブ生協の新拠点「くらしてらす」に関わる皆さんを迎え、フォーラムを開催しました。

「くらしてらす」の1階には出来立てパンも提供する市が尾デポー、2階は認可保育園（ピッピみんなの保育園）、3階は組合員や地域の人々の集うスペース、屋上には太陽光発電所があります。ここでつくられた電気は、日常的に1階2階の電灯用として使用します。初めに横浜北生活クラブ生協理事長の安永寿子さんからFEC（フード、エネルギー、ケア）+W（ワーク）の自給圏づくりの話がありました。安永さんは、組合員だけでなく地域に開かれた拠点にしたい、そして生活クラブを道具に、助けあえる関係がある心豊かに暮らせる社会を描き実現を旨ざしたいと力強く語られました。

保育園を運営するNPO法人ピッピ親子サポートネットの理事長 友澤ゆみ子さんと、デポーで弁当・惣菜を販売するW・Co ミズキャロット奥本直子さんからは、地域福祉サービスの担い手として何ができるかを考えて日々努力していることを

お聞きしました。パネラーのみなさんの幅広い実践は、食の安全や子育て介護、環境と、私たちが取り組んできた政策アクションにも重なるものでした。

今後も「くらしてらす」から始まるまちづくりにコミットし、その活動が豊かに広がるために必要な政策制度を提案していきます。



パワーシフトしました！ ポスターを貼ってください！

街に溢れるパワーシフトをした人たちの笑顔が、次のパワーシフトを後押しします。



あなたの家、お店に、ポスターを貼って、パワーシフトアクションにご参加ください。お問い合わせは、ネット青葉まで
E-mail: net-aoba@nifty.com
FAX: 045-508-9474

市民がまちづくりの主人公

政治を
政治を
政治を

5つの政治姿勢

- 1 カンパとボランティアで政治と選挙をおこないます
- 2 活動を広く公開します
- 3 政治への寄付をひろげます
- 4 へんだなと思ったらミニフォーラムを開きます
- 5 議員は2期8年で交代します

3つの政治理念

- 1 政治への参加をひろげます
- 2 生活者の政治をすすめます
- 3 市民民主主義をそだてます

神奈川ネットワーク運動・青葉は、役所や政治家におまかせするのではなく、市民の実践により、まちや政治をつくり変えていくことをめざしています。